

2024年度学校づくりアンケート結果について

1月末に学校評価として、4・5年生児童とPTA役員の保護者の方々に、学校づくりに向けたアンケートをお願いしました。また、学校運営協議会14名の方々に、アンケート結果を基に、ご意見を伺いました。◎4・5年生用アンケートの項目は、次の通りです。

【4・5年生用】

- 1 学校生活は楽しい
- 2 学校の行事は楽しい
- 3 学校の給食を楽しみにしている
- 4 先生は話をよく聞いてくれる
- 5 授業はわかりやすい
- 6 授業は楽しい
- 7 授業に集中して取り組んでいる
- 8 自分の考えをみんなの前で発表できる
- 9 みんなの意見や発表をよく聞いている
- 10 こまったこと、わからないことは、先生に聞くことができる
- 11 先生は、よくほめてくれる
- 12 学校やクラスのきまりを守っている
- 13 先生やともだちにあいさつをしている
- 14 委員会や係の活動をきちんとしている
- 15 他学年や友だちにやさしくしている
- 16 こまったとき、相談する友だちがいる
- 17 休み時間は友だちと仲よくあそんでいる
- 18 家の人に学校のことをよく話す
- 19 感染症予防の新しい学校生活を守っている
- 20 先生はいじめについてきちんと指導してくれる
- 21 今年度、友だちにいじめられていやな思いをしたことがある

各項目について、そう思う・だいたいそう思う・どちらともいえない・あまりそう思わない・そう思わないの5段階で回答してもらい、結果を分析しました。

どちらともいえないを除いた、肯定的と否定的な回答の割合で分析しますと、「1学校生活を楽しんでいる」は88.2%と3.6%。「2学校の行事は楽しい」は86.8%と7.3%。「3学校の給食を楽しみにしている」は85.3%と5.9%でした。肯定的な児童が多いですが、否定的な児童の割合を軽視せず改善を図ることが必要と捉えています。

学習面では、「5授業はわかりやすい」は83.9%と7.3%で、「6授業は楽しい」は76.5%と11.8%でした。授業はわかりやすいが、楽しさに若干つながっていない傾向が見られました。児童が興味関心を持ち、主体的に授業に参加できるような取組が必要と考えます。「9みんなの意見や発表を

よく聞いている」は90.5%と4.4%で、「8自分の考えをみんなの前で発表できる」は57.4%と24.3%でした。授業で他者の発表をよく聞いているが、自分の発表に自信が持てていない傾向が見られます。自身の考えに根拠を持つことができ、更に対話的な授業に取り組む必要があると思います。

「4先生は話をよく聞いてくれる」は87.5%と8.1%、「10こまったこと、わからないことは、先生に聞くことができる」は72%と11.8%、「11先生は、よくほめてくれる」は72.8%と5.2%、「13先生やともだちにあいさつをしている」は87.5%と6.6%でした。特に児童と教員のコミュニケーションの状況が分かる項目ですが、良好なコミュニケーションが成されている傾向がみられます。更に教員が質問しやすい関係づくりや児童の取組をよく見て、良いところは積極的にほめるような取組を継続して行きたいと思います。

学校生活面の「12学校やクラスの決まりを守っている」は84.5%と5.9%、「14委員会や係の活動をきちんとしている」は89.7%と3.7%で、意識を持ってしっかりと取り組んでいる姿勢がうかがえます。

友だち関係では、学校教育目標にも掲げている「やさしさ」について「15他学年や友だちにやさしくしている」は84.5%と4.4%と高い評価です。また、「14こまったとき、相談する友だちがいる」は79.4%と6.6%、「15休み時間は友達と仲よく遊んでいる」は91.9%と0.7%で肯定的な回答が高く、友人関係の良好さがうかがえます。

「18家の人に学校のことをよく話す」は77.2%と12.5%で、概ね家庭での会話を大切にしていることがうかがえますが、あまり話さない児童と二極化している傾向も見られました。

感染症予防に関する項目「19感染症予防の新しい学校生活を守っている」は71.3%と11%でした。まだまだコロナ、インフルエンザ等の感染症は続いています。引き続き意識して取り組んで行きたいと思います。

「20先生はいじめについてきちんと指導してくれる」は89.7%と5.1%でした。それに対して、21のいじめに関して「ある」が14.7%でした。約15%も決して少ない値ではありません。全校において道徳科を要とした、教育活動全体を通して、道徳教育に取り組み、児童の心を育てるとともに、児童

支援担当教諭（みんなの先生）を中心として、全職員で「いじめ防止・早期発見対応・解決」の重要課題に引き続き取り組んでいきます。

◎保護者用アンケートの項目は、次の通りです。

【保護者用】

- 1 学校は、教育目標や経営方針、活動の様子をわかりやすく知らせている
- 2 学校行事の内容は、適切であると思う
- 3 学校に、子どものことについて気軽に相談できる
- 4 学校は、子どもが努力したことを認められている
- 5 学校は、子どもの安全や事故防止に努めている
- 6 子どもへの学習指導は適切に行われている
- 7 子どもへの生活指導は適切に行われている
- 8 学校の施設・設備は適切に管理されている
- 9 学校の施設・設備は有効に活用されている
- 10 学校給食は、栄養などをよく考えてつくられている
- 11 学校は、PTAや家庭との協力関係ができている
- 12 子どもは、学校に行くのが楽しそう
- 13 子どもは授業がわかりやすいと言っている
- 14 子どもは、学校行事を楽しみにしている
- 15 子どもたちは、あいさつがよくできていると思う
- 16 子どもたちは交通ルールをよく守っている
- 17 学校からの配布物は、必ず読んでいます
- 18 学校・学級の様子は、家庭でよく話し合っている
- 19 子どもたちは、感染症を予防するための新しい生活様式を意識して、守ろうとしている

各項目について、よい・だいたいよい・どちらともいえない・あまりよくない・よくないの5段階で回答していただき、結果を分析しました。

どちらともいえないを除いた、肯定的と否定的な回答の割合で分析しますと、「2学校行事の内容は、適切であると思う」は57.2%と28.6%で、児童の86.8%と7.3%と比較すると違いが見られます。

「学校は、子どもが努力したことを認めてくれている」は71.1%と28.6%で、児童の72.8%と5.2%と比較すると、否定的な回答に違いが見られます。

最も割合に違いがあった項目「子どもへの学習指導は、適切に行われている」は57.2%と42.9%で、児童は83.9%と7.3%でした。

この要因として、アンケート集計数が、保護者7人に対し、児童136人という大きな違いがあることがあげられます。136人の7.3%は約10人となり、その10人の児童に該当する保護者の方が、高い割合で回答してくださっているとすれば、否定的な割合は多くなります。これは割合で見過ごしがちな反省点が浮き彫りになったともいえます。

保護者のアンケート結果の原因と思われる点は、学校としても把握している部分もあり、この結果を真摯に受け止めて、改善を図っていきたいと思います。

昨年度評価の低かったのが11・16の2項目でした。「11学校は、PTAや家庭との協力関係ができている」は昨年度45.5%と、27.3%でしたが、今年度は100%と0%と改善が見られました。また、「16子どもたちは交通ルールをよく守っている」は今年度も28.6%と42.9%と最も低く、校外での児童の行動で、保護者の方が見て、危険を感じている現れだと思えます。学校での交通安全指導に併せて、家庭や地域の協力が不可欠な課題であると思えます。地域の協力依頼にも積極的に働きかけて行きたいと思えます。

◎学校運営協議会委員の方々にアンケートの結果を見ていただき、意見を伺いました。特に問題点、改善点の指摘はありませんでしたが、児童アンケートの最後、「21今年度、友だちにいじめられていやな思いをしたことがある」の「ある」約15%について、「学校での対応は行われているのか」という質問がありました。早期発見については、日々の担任を中心とした児童観察、児童、保護者からの相談、学校生活アンケートの実施による把握などを行っていること、また、解決に向けては、児童からの詳しい聞き取りによる実態の把握、被害者の心のケアや加害者の指導、保護者の協力等についての説明、更に、いじめ発生、再発防止については、先に述べた、児童の心の教育等を説明しました。

保護者のみなさまには、今後も学校の課題解決にご協力いただきたくお願いいたします。

児童を含め、アンケートにご協力いただいた方々、貴重なご意見を本当にありがとうございました。

教職員による自己評価・年間反省も含め、アンケート結果やいただいたご意見を基に、来年度に向け、また来年度の年間を通して改善してまいります。